

産業報道出版株式会社 スロパン新聞

産業報道出版株式会社

本社 東京都中央区築地3-7-4
電話03(3541)4181 代表

関西支社 大阪市西区北堀江1-6-5
電話06(6531)3621 代表

東海支局 名古屋市千種区内山3-10-17
電話052(735)0484

ホームページアドレス
<http://www.lpg-sanpo.co.jp>

エレクトクス 発電機とLPガス容器を一体化 建設技術展示館で実機公開

生産設備メーカーのエレクトクス(長崎県佐世保市、山口正利社長)が開発したフルパツケージ型LPガス非常用発電機「EB-1000」がこのほど、国土交通省の建設技術展示館(千葉県松戸市)の展示品に採用された。展示館は、同省のNETIS(ネットィス)新技術情報提供システム)認証を受けた

優れた建設技術を公開する施設。2日のリニューアルオープンに合わせて、防災・減災技術

コーナーの展示品に加わった。令和4年11月まで2年間展示される。



山口社長と「EB-1000」

EB-1000の最大の特長は、LPガス発電機や制御機器、LPガス容器を一つの筐体に収納したこと。設置場所について省スペース化が図れるだけでなく、1m騒音値で75dBの低騒音運転が可能になった。夜間や住宅地での設置・使用にも適している。発電容量は1kVA。筐体内の30kg容器2本で72時間以上の運転が可能となっている。

容器の収納室と火気となる発電機は、特許技術の不燃性隔壁で遮断し、安全を確保している。

エレクトクスが販売タレットとして想定しているのは、公的機関が設置する屋外の監視カメラや観測機器などの非常用電源などとしており、病院や老健施設、避難所となる学校などの非常用電源としてのニーズも有望視している。

山口社長は「非常用発電機の用途にはさまざまなものがある。われわれ自身もまだ気づいていないニーズがあると思うので、今後模索していきたい」と述べた。